

# まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課名：

行財政改革課

シートNo： 119

作成日： 2024/2/15

## ① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期基本計画	施策の大綱	Ⅶ行財政運営の効率化	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1市民満足度の高い行財政運営を進める	類似団体の決算額構成比を比較すると、公債費の割合が高く（R3：当市11.0%、類似団体8.8%）、公営企業会計の企業債残高も増加していること等から、実質公債費比率が高いこととなっています。また、基金残高は水害前の水準を超えています。また、類似団体と比較すると低い値となっています（R3：一人当たり積立金：当市108,333円、類似団体137,817円）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業を実施するにあたり、国県支出金や寄附金をはじめとした財源の意識付けや、市の現状把握、分析による事務事業の見直しなどを啓発するため、庁内向けの研修を実施します。</li> <li>将来負担を軽減するため、借りに頼らない事業の実施や公債費の繰上償還などを目指します。</li> </ul>
	施策	2財政運営		
	施策内容	財政運営の適正化		
	その他、根拠法令及び分野別計画	—		
事務事業名	財政の健全化			

## ② インプット（投入）

会計名	
一般会計	
款	公債費
項	公債費
目	元金
事業	地方債元金償還金

## ③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
職員研修（財政について考えよう）	市職員	2回	2回	延べ153人（参加者）	延べ130人（参加者）
職員研修（予算執行と予算編成について）	市職員	1回	1回	延べ84人（参加者）	延べ100人（参加者）
財政研修の受講	財政担当職員	4日間	4日間	1人（受講者）	1人（受講者）
予算、決算状況の周知（広報紙）	市民	2回	2回	17,000世帯	17,000世帯
基金積立	市民	—	—	84,652千円	1,107千円

## ④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
職員研修における満足度	4.13点	4.0点
元金償還額に対する起債の割合	30.7%	50.0%

## ⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性		
<input type="checkbox"/>	コスト	<input type="checkbox"/>	活動	<input checked="" type="checkbox"/>	成果	<input type="checkbox"/>	その他	今後は職員向けの研修について、アンケート結果に応じた内容に見直しを重ね、より理解度を深めることで、新規事業等における財源の意識付けや、E BPMに基づいた事業の見直しなどにより、財政運営の適正化を目指します。
業務の振り返り								
積立金残高の基準は明確ではなく、また、財政調整基金のみではなく特定目的基金も含まれているため、類似団体や他市町村との単純比較とはならない点に注意が必要です。また、実質公債費比率についても、債務負担の公平性という側面もあるため、必ずしも借りに頼らないことが良いという事ではない点に注意が必要です。								

## ⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
積立金残高	6,959,480千円	8,000,000千円
実質公債費比率	8.2%	6.6%